

杜の癒し感じる道の駅オープン！



国・県・市が平成16年から取り組み完成した道の駅「阿蘇」の開駅式が6月1日行われ、地権者をはじめ、工事関係者、地元関係者、市議会議員など100人が参加し完成を祝いました。道の駅「阿蘇」は県内で19番目の道の駅となります。

式は、オープニングとして道の駅入口の国道57号交差点に設置した案内板（書：書家森山秀吉氏）の除幕で始まり、佐藤市長による主催者挨拶のあと、事業経過報告、地権者等への感謝状贈呈、国土交通省熊本河川国道事務所技術副所長丸久哲郎氏、県地域振興局長黒田幸一氏、阿蘇警察署長吹原直也氏、県議会議員佐藤雅司氏、市議会議員高藤拓雄氏による来賓挨拶などがありました。

最後にテープカットを行い道の駅「阿蘇」オープンを知らせると、早速、癒しの杜をイメージした駐車場に車が入り始め、この日の夕方までに1千人以上の利用がありました、非常に立地条件に恵まれた道の駅と言えます。

道の駅「阿蘇」内の施設は毎日ご利用できます。
問い合わせ先 道の駅「阿蘇」 ☎ 35 - 5088



▲ オープニング案内板序幕の様子。

開駅を記念しトイレ入り口に大きなアートを寄贈いただきました。竹のオブジェが大倉幸也さん（山田）、生け花が牛島敦子さん（元黒川）の作品です。



10回目数える会社ぐるみのクリーン作戦

一の宮町中通に工場を持つシンエイ産業株式会社（東内三利社長）では、社員による地域清掃活動を毎年、年2回行っています。本年も6月7日、会社の周囲（半径約2km）のゴミ拾いを行い、50kgを超えるゴミを集めました。

シンエイ産業株式会社では、このクリーン作戦ほか、日頃から阿蘇の自然環境保全に関する取り組みを行い、美しい阿蘇づくりに貢献しています。

6月9日、波野中学校で、阿蘇市消防団第6分団（後藤二夫分団長）・7分団（岩下道幸分団長）と波野中PTA役員（甲斐寛隆会長）約40人が協力しツツジの苗木を植栽しました。消防団には操法大会の練習で学校の敷地を借りた感謝の気持ちも込められています。

学校では校舎改築に伴い裏の学校林を伐採し緑化を検討していたところ、地元の岩下雄治さん（岩下農販売）からドウダンツツジ95本の寄贈があり、赤迫朝昭さん（赤仁田）の指導のもと植栽したものです。坂梨校長は、「春には桜、秋には紅葉の森になるよう、夏までにはPTA役員と同窓会役員の皆さんと協議し、緑化計画事業を推進したい」と、校舎周辺整備の意気込みを語られました。

地元消防団らが学校に植栽

